

かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開



新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中核拠点として役割を担います。



北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。



南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

【展望ロビー公開時間】

午前9時～午後9時まで
(土日祝日含む)

※設備点検や悪天候時には展望フロアを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場



議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒に安心して議会をご覧いただけます。



議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】



「議会かわさき」広報キャラクターのおよよんが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継



開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム



川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。



ぜいじのみかた

2026年 vol.2



特集 川崎市一般会計9377億円予算案を議会上程
高濃度PCBを発見したら…まず市役所へ電話!

川崎市議会議員
環境委員会 委員

みつる
飯田 満



Profile

川崎市一般会計9377億円予算案を議会上程

川崎市は、一般会計予算案で初となる9,000億円超えの予算案を議会に上程した。一般会計では、対前年度比で5%増の9,377億円、収入の主たる市税は5.5%増4,271億円で5年連続で過去最高を更新している。また、特別会計は、対前年度比7.3%増の5,436億円、

企業会計も4.7%増の2,466億円で、3会計の総額が1兆7,280億円規模となった。市民1人あたりの予算の使い道は総額60万1,430円となっている。2月12日に開会した令和8年第一回市議会定例会に議案上程され、審議が行われる。議会の会期は、3月18日までの35日間の予定。

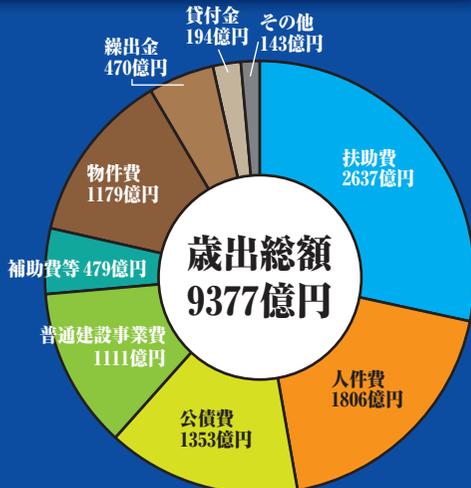
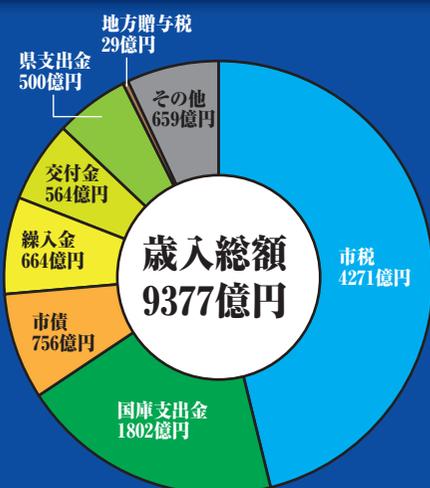
補正予算案は、物価高騰対策として「プレミアム付きデジタル商品券」

川崎市は、令和8年度当初予算案を市議会に上程し、一般会計、特別会計、企業会計の3会計を審議する。市民の暮らしに影響する一般会計の歳入は、総額9,378億円(前年比5%増)で3年連続増加している。その要因は主に、人口が増え続けていることや市民の給与が引き上げられたことによる個人市民税の増と家屋の新増築などによる固定資産税の増が増加の要因で令和7年度と比較して224億円増える見込みとなっている。一方、流出が心配されているふるさと納税は、過去最大の172億円に膨らむ見込み、寄付の受入額は、返礼品等の工夫により55億円と増えたものの117億円がそのままマイナスになる見込みだ。主な歳出は、昨年、政治判断がされた小児医療費

の助成拡大で、現在の中学3年生までを18歳までに引き上げる条例を昨年、議会で成立させ、今年9月からスタートする予定。また、市立学校の体育館に空調設備を整備する予算案も計上され、来年度は4億2,000万円を掛けて令和11年度までに178棟の体育館に空調の整備が完了する見込みとなっている。そして、政府の重点支援地方交付金を活用した物価高対策は、農林水産省が推奨する「お米券」は導入せず、市内在住者が購入できるプレミアム付きデジタル商品券を発行。また、住民税非課税世帯に1万円の給付金を支給するとして補正案が2月17日の市議会本会議で可決成立した。

令和8年度当初予算案 総額:1兆7280億円(5.7%増加)

一般会計:9,377億円(5.0%増)
特別会計:5,436億円(7.3%増)
企業会計:2,466億円(4.7%増)



高濃度PCBを発見したら…まず市役所へ電話!

昭和52年3月以前に建設されたオフィスや工場・工場、ビルなどの蛍光灯部材にPCB(ポリ塩化ビフェニル)が使用されている場合があります。発見されたら、川崎市役所廃棄物指導課PCB対策担当へご連絡ください。

今は、PCBを発見した事業者が、適正保管する必要があります

昭和52年3月以前に建設された建築物(一般家庭を除く)の蛍光灯部材に高濃度PCBである安定器が設置されている場合があります。この高濃度PCBは、昭和43年に発生したカネミ油症事件の原因物質です。PCBという液体が化学反応して体内に入ると身体に有害な症状を発します。国では、平成13年にPCB特措法の法律を制定して、社会から根絶する取組みを進めています。しかし、まだまだは認知度が低く、根絶には至らない状況で、散発的に発見され、都度、処分してきました。

神奈川県や川崎市は、PCB安定器を発見したら、速やかに連絡することを求めています。発見されたPCB安定器は、現在、処理施設が閉鎖準備のため、処分することができません。新たに国が処理施設の整備をおこなっています。その施設が完成するまでの間は、発見した事業者が、安全に適正に保管する必要があります。下の図のように、連絡、届出、保管をお願いします。

川崎市環境局廃棄物指導課PCB対策担当 044-200-0159

